

「ひろしま公園活性化プラン」改定の骨子案について

1 要旨

県立3公園（みよし、びんご、せら）の管理運営方針を示した「ひろしま公園活性化プラン（令和4年度～令和12年度）」が令和7年度に中間年度を迎えたことから、上位計画である「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」、及び「社会資本未来プラン」の改定内容と整合を図った上で、これまでの成果や課題、社会経済情勢の変化等を踏まえて改定する。

2 現行計画の取組成果

○ 目標に対する実績

	策定時 (R3年度)	中間目標 (R7年度)	実績 (R7年度)	目標 (R12年度)
利用者数	約104万人	177万人	約122万人	182万人
満足度	約86%	90%	約78%	90%

○ 主な取組成果

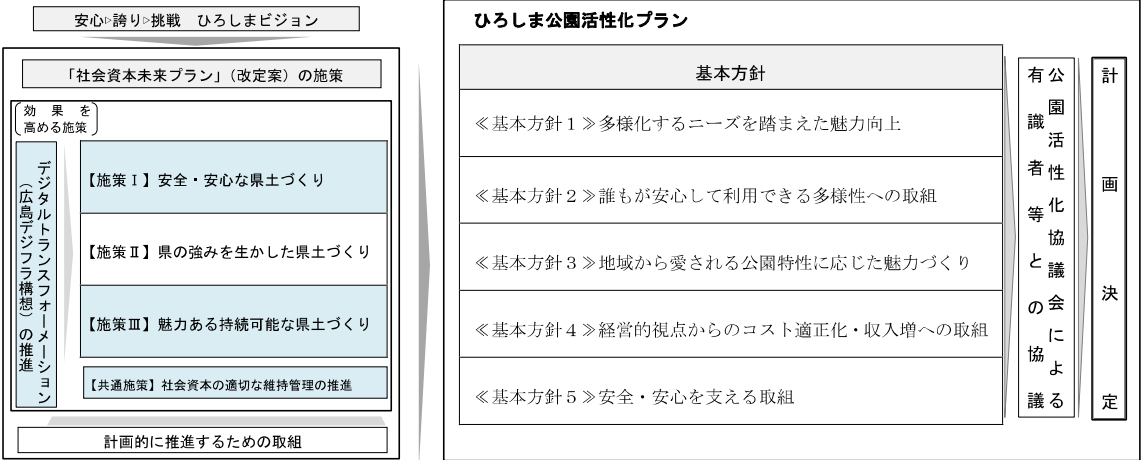
- ・球技場の人工芝化やPark-PFI制度を活用したアーバンスポーツパークの新設により、利用者数の増加を図った。
- ・陸上競技場等の電光掲示板改修や公園施設のバリアフリー化、キャッシュレス決済の導入により、利用者の利便性・快適性の向上を図った。
- ・コンサート等のイベントやトップアスリート講座等の開催により、公園の魅力向上を図った。

3 骨子案の改定概要

(1) 計画期間 令和4年度～令和12年度（9年間）※変更無し

(2) 改定に当たっての考え方

- ひろしま公園活性化プランの基本方針は、上位計画の施策と整合が図られているため、変更しない。
- 目標指標については、令和7年度の実績や社会的背景を勘案するとともに、公園活性化協議会での協議を踏まえ、計画素案策定時に設定する。
- 現行の取組強化に加え、次の新たな取組を検討・実施する。
 - ・競合施設等との差別化や夏季の猛暑への対策
 - ・公園の情報発信や公園の新たな利用方法
 - ・夜の時間帯での利用者増加を図るイベントなど



4 スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月
骨子案公表 ○	公園活性化協議会（有識者、市町等）		計画素案公表 ○	成案 ○

「ひろしま公園活性化プラン」改定の骨子案

1 現行計画の概要【計画期間：令和4年度～令和12年度】

【計画策定の趣旨】

県立みよし公園、県立びんご運動公園、県立せら県民公園（以下、「県立3公園」という。）について、施設の老朽化や利用者のニーズの変化を踏まえた既存ストックの機能向上を図り、将来にわたって県民から愛され続ける公園を実現することを目的に方針を取りまとめた。

【目指す姿（10年後）】

共通	・多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたい、滞在時間の長い施設となっている。 ・気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている。 ・民間事業者や地域住民等が公園運営にも参画しており、公園全体の魅力が向上し続けている。
みよし公園	・備北圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、地域に開かれた公園として積極的に利用されている。また、高速道路でのアクセス性の良さを生かし、 文化活動・企業活動などが盛ん に行われている。 ・スポーツ及びレクリエーション施設では施設水準が適切に維持され、 備北圏域を代表するスポーツ施設 として様々な大会等が行われており、屋外では ゆったりと楽しめる 、憩える空間が広がっている。
びんご運動公園	・尾道市を中心とする備後圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、 地域に開かれた公園 として積極的に利用されている。 ・スポーツ施設では施設水準が適切に維持され、 県内スポーツにおける中核施設 として様々な大会開催・イベント等が行われている。また、施設更新時には、利用者ニーズに柔軟に対応するなど、レクリエーション施設も充実し、 長時間楽しめる 、憩える空間となっている。
せら県民公園	・原風景が広がる 自然観察園 では、 自然観察や環境学習などが盛ん に行われ、地域に欠かせない施設となっている。 ・ゆったりと憩える空間が形成されており、周辺観光施設を周遊するファミリー層が、 立ち寄ってみたい くなる公園となっている。

【基本方針】

①多様化するニーズを踏まえた魅力向上	②誰もが安心して利用できる多様性への取組	③地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり
④経営的視点からのコストの適正化・収入増への取組		⑤安全・安心を支える取組

【目標指標】

	中間目標（令和7年度）	目標（令和12年度）
利用者数	177万人	182万人
満足度	約90%	約90%

【公園毎の特性】

みよし公園	びんご運動公園	せら県民公園
●備北圏域のスポーツの中核施設【 強み 】 ●集客力の高い類似施設と競合【 弱み 】 ●高速道路からの良好なアクセス性【 強み 】	●県内スポーツの中核施設【 強み 】 ●高い施設水準【 強み 】維持コスト【 弱み 】 ●健康増進のための利用が多い【 強み 】 ●高速道路からの良好なアクセス性【 強み 】	●数少ない自然観察園を有し自然活動へのニーズが高い【 強み 】 ●周辺に観光施設が点在【 強み 】 ●せらワイナリーが隣接【 強み 】 ●高速道路からの距離【 弱み 】

2 中間評価

【目標に対する実績】

	令和3年度（策定時）	令和7年度（目標）	令和7年度（実績）
利用者数	104万人	177万人	122万人
満足度	約86%	約90%	約78%

3 取組成果（令和4年度～令和7年度）

（1）多様化するニーズを踏まえた魅力向上

- ・Park-PFI制度を活用したアーバンスポーツパークの新設（びんご）・陸上競技場等の電光掲示板改修（びんご）
- ・球技場の人工芝化（びんご）・BBQなどにおける火器使用制限の緩和（みよし・せら）・キャッシュレス導入（みよし・びんご）等

（2）誰もが安心して利用できる多様性への取組

- ・公園施設のバリアフリー化（みよし・びんご・せら）・HP内の施設案内・説明の強化（みよし）
- ・わかりやすい園内表示の工夫等

（3）地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

- ・トップアスリートによる講座（みよし・びんご）・パラスポーツ体験会（びんご）・コンサート等のスポーツ以外のイベント促進（みよし・びんご）・グラウンドゴルフの促進（せら）・公園サポーター体験イベントの実施（みよし・びんご・せら）等

（4）経営的視点からのコスト適正化・収入増への取組

- ・ネーミングライツの導入（みよし・びんご）・照明LED化によるコスト削減（みよし・びんご）等

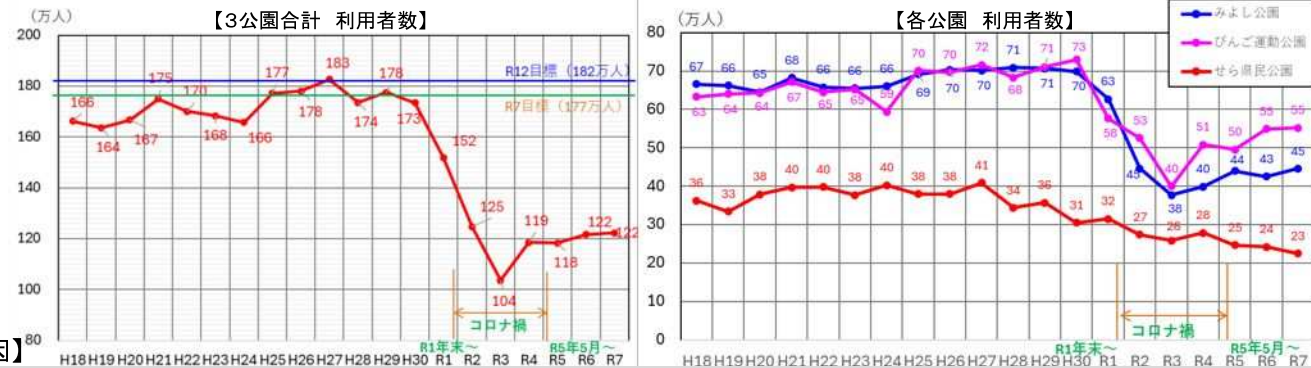
（5）安全・安心を支える取組

- ・アリーナ耐震化（みよし・びんご）・指定管理者による社内防災研修会の実施（みよし）
- ・イノシシ・シカ対策の実施（びんご・せら）・熱中症対策講座と免疫力向上講座の実施（びんご）・園路を透水性舗装に改修（せら）等

4 県立3公園における現状分析

（1）公園利用者数（令和7年度：122万人）

公園利用者数がコロナ禍以前の水準まで回復していない。



【要因】

（社会的背景）

- ・若年層におけるスポーツ競技人口の減少。（県内のスポーツ少年団競技団員数：R元：約13,000人→R6：約9,600人（約3,400人減（約26%減））、中高生における生徒の運動部加入率 R元：58.3%→R7：51.8%（6.5%減）。
- ・県立公園の競合施設となるレジャー施設等が公共交通利便性の高い都市中心部において増加（広島市中央公園再整備、福山市中央公園再整備、JR広島駅ビル ソラモア広場、イオンモール広島府中 VS PARK、こどもたちパークふくやま店、i-coreFUCHUなど）。
- ・また、公園内のトレーニング施設と競合する屋内フィットネス市場等が拡大し店舗数が増加。（R2：4,387店舗→R6：約6,500店舗（約48%増）見込み）
- ・夏季の猛暑等により屋外施設の屋間の利用が低迷。（7月～9月の屋外施設の利用者数：（みよし）R元：128,292人→R6：77,639人（50,653人減（約39%減））、（びんご）R元：78,522人→R6：65,531人（12,991人減（約17%減））、（せら）R元：79,472人→R6：68,447人（11,025人減（約14%減））
- （みよし公園）
- ・スポーツ大会やイベント、教室等の開催数はコロナ禍前まで回復しているが、利用者数が回復していない。（スポーツ大会やイベント、教室等の1イベントあたりの参加人数 R元：297人→R6：123人（174人減（約59%減））。
- ・施設の耐震化や老朽化対策などによる利用制限の発生。（停止期間：アリーナ（R3年11月～R4年6月：推定約33,700人減）、ふわふわドーム（R6年2月～R6年9月：推定約13,500人減）、温水プール（R5年2月～R5年3月：推定約2,000人減）等）
- ・令和2年以降、1万人越えの集客を見込む大規模イベントが実施できていない。（野外ステージ等の利用者数 R元：26,501人→R6：3,730人（22,771人減（約86%減）））
- ・公園使用団体の高齢化による解散により、団体としてのパークゴルフ場利用者等が減少している。（パークゴルフ場年間利用者数 R元：8,430人→R6：4,577人（3,853人減（約46%減）））

（びんご運動公園）

- ・スポーツ大会やイベント、教室等の開催数はコロナ禍前まで回復しているが、利用者数が回復していない。（スポーツ大会やイベント、教室等の1イベントあたりの参加人数 R元：109人→R6：54人（55人減（約50%減）））
- ・施設の耐震化や老朽化対策などによる利用制限の発生。（停止期間：アリーナ（R3年1月～R3年5月 推定約20,000人減）、プール（R5年10月～R6年3月 推定約21,000人減）、球技場（R5年11月～R6年4月 推定約12,500人減）等）

（せら県民公園）

- ・一体利用が多い隣接のせらワイナリーの利用者の減少。（せらワイナリーの利用者数：R元：158,869人→R6：124,133人（34,736人減（約22%減）））
- ・冬期期間（12月～2月）の利用者が低迷。（R6公園利用者数に占める12～2月利用者数割合：みよし22.7% びんご19.0% せら7.6%）
- ・世羅町の周辺観光施設からの観光客を十分に取込めていない。（世羅町全体（R6）：約200万人/年、せら県民公園（R6）：約24万人/年）

（2）満足度

	みよし公園	びんご運動公園	せら県民公園	県立3公園
令和3年度	約86%	約89%	約78%	約86%
令和7年度	約71%	約79%	約89%	約78%

（みよし公園）

- ・人気の遊戯施設など、施設の老朽化や設備の不具合等がみられる。
- ・大型複合遊具のある三次市立みよし運動公園と比べ、県の施設は古く、グレードが低い。
- ・公園に安心してペットを連れていけるようなドッグラン等の施設がない。
- ・トイレなどバリアフリー化されていない箇所が多く、利用勝手が悪い。

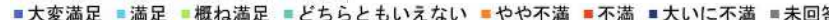
（びんご運動公園）

- ・整備から一定期間がたっており、施設の老朽化や設備の不具合等がみられる。
- ・多目的グラウンドなどのスポーツ施設が改修工事のため、一定期間利用できなかった。
- ・令和6年度に球技場の改築で人工芝化を行い、利用者から好評。

（せら県民公園）

- ・希少植物や昆虫の保護活動に対して好意的な意見。
- ・令和5年度にレクリエーション広場南側にトイレを新築し、好評。
- ・遊戯施設はあるが、古く、利用者層が限定的なため、更新してほしい。
- ・公園までのアクセス性が悪い。

※アンケート調査や指定管理者からの聞き取りによる



5 現状分析を踏まえた主な課題

これまでの現状分析を踏まえ、3公園共通及び各公園の主な課題は次のとおりである。

■3公園共通

- ①若年層のスポーツ人口の減少
- ②競合施設(レジャー・トレーニング施設等)増加に伴う利用者の減少
- ③夏季の猛暑による屋間利用者の減少

■みよし公園

- ④スポーツ大会やイベント、教室への参加者の減少
- ⑤施設の老朽化等に伴う利用者からの不満

■びんご運動公園

- ⑥スポーツ大会やイベント、教室への参加者の減少
- ⑦施設の老朽化等に伴う利用者からの不満

■せら県民公園

- ⑧隣接するせらワイナリーの利用者数の減少
- ⑨周辺観光施設の観光客取り込みが不十分
- ⑩冬季期間における利用者の減少

6 見直しの方針

3公園共通及び各公園の主な課題を踏まえ、現行計画に位置付けた基本方針、目標指標及び取組等における見直しの方針は、次のとおりである。

(1)基本方針

プラン策定後に明らかになった社会的背景からの新たな課題のほか、プラン策定時からの残存する課題があることがわかった。
これらの課題は、いずれも現行の基本方針1～5に関連する内容であるため、今回のひろしま公園活性化プランの見直し骨子において、基本方針は変更しない。

(基本方針1)

多様化するニーズを踏まえた魅力向上

(基本方針2)

誰もが安心して利用できる多様性への取組

(基本方針3)

地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

(基本方針4)

経営的視点からのコスト適正化・収入増への取組

(基本方針5)

安全・安心を支える取組

(2)目標指標

目標指標については、令和7年度の実績や社会的背景を勘案するとともに、公園活性化協議会での協議を踏まえ、計画素案策定時に設定する。

目標(令和12年度)	
利用者数	検討中
満足度	検討中

(3)取組項目

現行の取組の方向に加え、課題の一つであるせら県民公園における「⑩冬季期間における利用者の減少」については、新たに「冬季における利用誘導」を設定する。

(4)具体的な取組

現行の具体的な取組の強化に加え、3公園共通及び各公園の主な課題を踏まえた新たな取組を行う。

7 取組の方向、具体的な取組方針

(基本方針１) 多様化するニーズを踏まえた魅力向上		
取組項目	具体的な取組（現プランの計画内容）	改定に向けた具体的な取組検討内容
民間のノウハウを活用した魅力向上	Park-PFI など民間活力の導入【重点】 など	○ 利用者増加を図る新たな取組（ナイトイベントなど）の検討 ①、④、⑥ ○ 競合施設等との差別化や公園の利用促進について検討 ② ○ 施設の老朽化対策等の計画的な取組について検討 ⑤、⑦ ○ 公園の情報発信や公園の新たな使用方法について検討 ②、③、④、⑥、⑩
利用者のニーズを踏まえたサービス提供	キッチンカー等の誘導、キャッシュレス化 など	
オープンスペースの魅力向上	ひろしまはなのわビジョンを踏まえた花や緑に親しむイベント等の実施 など	
利用者のニーズを踏まえた施設更新・整備	魅力向上に資する施設更新・整備【重点】	
多様な使い方を誘発	HPやSNSを活用した公園の使い方の幅を広げる情報発信【重点】など	
DXの推進	キャッシュレス化（再掲） など	
継続的なニーズ把握	アンケート調査等の実施	
(基本方針２) 誰もが安心して利用できる多様性への取組		
取組項目	具体的な取組（現プランの計画内容）	改定に向けた具体的な取組検討内容
気軽に利用できる環境づくり	バリアフリー化・インクルーシブ化【重点】 など	○ 夏季の猛暑への対策について検討 ③
居心地の良い環境づくり	トイレの洋式化・タッチレス化 など	
(基本方針３) 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり		
取組項目	具体的な取組（現プランの計画内容）	改定に向けた具体的な取組検討内容
共通	多様な主体の参画を誘発	○ 引き続き、地域住民や民間企業へ活動を働きかける
	地域活動を誘発する環境づくり	
みよし公園	広島圏域からも集客できる魅力づくり	○ 競合施設等との差別化や公園の利用促進について検討 ② ○ スポーツ大会や教室などの企画内容について検討 ①、④
	文化活動・企業研修を誘発 スポーツを核とした交流	
びんご運動公園	文化活動・企業研修を誘発	○ スポーツ大会や教室などの企画内容について検討 ①、⑥
	スポーツを核とした交流	
せら県民公園	文化活動・企業研修を誘発	○ 周辺観光施設等からの観光客取り込みの検討⑧、⑨ ○ 冬季のイベントなどの企画内容について検討 ⑩
	自然活動や環境学習を誘発する環境づくり	
	周辺施設からの利用誘導 冬季における利用誘導	
(基本方針４) 経営的視点からのコスト適正化・収入増への取組		
取組項目	具体的な取組（現プランの計画内容）	改定に向けた具体的な取組検討内容
新たな管理運営手法の導入	Park-PFI など民間活力の導入（再掲） など	○ 施設の老朽化対策等の計画的な取組について検討 ⑤、⑦
新たな資金調達手法の導入	ネーミングライツの導入 など	
利用実態に即した施設更新	詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映	
利用料金の適正化	公共コストの適正化【重点】、ダイナミックプライシングの導入検討	
多様な主体の参画を誘発（再掲）	民間のCSR活動・NPO活動を推進（再掲） など	
コスト縮減	LED化・ローメンテナンス植栽の採用 など	
(基本方針５) 安全・安心を支える取組		
取組項目	具体的な取組（現プランの計画内容）	改定に向けた具体的な取組検討内容
防災拠点としての機能確保や活用強化	拠点施設の耐震化など防災対応機能の確保 など	○ 施設の老朽化対策等の計画的な取組について検討 ⑤、⑦
公園施設の適切な維持管理	計画的な大規模改修の実施、DXを活用した災害対策	
グリーンインフラの視点による防災機能の強化	園路など雨水浸透化	
カーボンニュートラルへの対応	太陽光などクリーンエネルギーの活用、森林の適切な管理	

※丸括弧内の白抜き数字は、「5 現状を踏まえた主な課題」の記載番号に対応している。

※丸括弧内の白抜き数字は、「5 現状を踏まえた主な課題」の記載番号に対応している。